

平成31年度高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

中学校 美術 高等学校 美術

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 - 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○0	○0	○0	○0	○0
●	○1	○1	○1	○1
○2	●	○2	○2	○2
○3	○3	●	○3	○3
○4	○4	○4	●	○4
○5	○5	○5	○5	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- ※ 正しくマーク（正しい選択問題への解答及びマーク）していないと、正確に採点されませんので、注意してください。

※本冊子の裏表紙に、【注意事項】の続きが記載されています。本冊子を裏返して、必ず読んでください。まだ、問題冊子は開かないでください。



第1問 次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、油絵と油絵の具について述べたものである。(①)・(②)に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

油絵は光沢のある鮮やかな色彩で、重ね塗りや厚塗りなど様々な表現ができるという優れた特徴がある。油絵の具は顔料を乾性油で練って作られている。乾性油とは(①)を取り込んで固まる性質をもった油である。乾性油には亜麻の実から採取した(②)やケシの実を精製して作るポピー油などがある。油絵の具は堅牢で耐久性に優れ、発色も美しい。

(①)

- a 水分 b 二酸化炭素 c 酸素 d 紫外線

(②)

- a テレピン油 b リンシード油 c ペトルール油 d フキサチーフ

- 2 次の文は、銅版画とシルクスクリーンについて述べたものである。(①)～(④)に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

版画には多くの版形式があり、銅版画は(①)に分類される。銅版画の代表的な技法の一つであるエッチングは、微細な線をあらわせる。線に対して面であらわす技法に、松脂の粉を付着させてその隙間を腐食させる(②)があり、柔らかな階調を出すことができる。

シルクスクリーンは、インクをのせたくない部分を覆って摺るという原理で、版形式としては(③)に分類される。代表的な技法として、細かい網状のスクリーンに(④)を塗り、それを感光させて版をつくる写真製版という技法がある。

(①)

- a 凸版 b 凹版 c 平版 d 孔版

(②)

- a アクアチント b ドライポイント c リトグラフ d メゾチント

(③)

- a 凸版 b 凹版 c 平版 d 孔版

(④)

- a 離型剤 b 腐食液 c 乳剤 d 揮発油

3 次の文は、日本画について述べたものである。(①) ~ (④) に該当する語句を、それぞれ下の a ~ d から一つずつ選びなさい。

日本画では、絵の具のにじみ防止のために (①) を和紙に塗る。日本画には幾つかの彩色法がある。掘り塗りは、輪郭線を残して塗る。(②) は、絵の具が乾かないうちに水分の多い別の絵の具を重ね、自然に混色させる描き方である。

金箔や銀箔を使った装飾技法は、作品に華やかな印象を与える。初めに箔箸を使って箔を画面に (③) 方法や、最後に振り筒を使って細かくした箔を (④) 方法がある。

(①)

- a 胡粉 b ミヨウバン c ドウサ d マカライト

(②)

- a 運筆法 b 没骨法 c 破墨法 d たらし込み

(③)

- a 貼る b 拭く c 蒔く d 垂らす

(④)

- a 貼る b 拭く c 蒔く d 垂らす

第2問 次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、人体彫刻について述べたものである。(①)～(④)に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

粘土で人物をつくるには、まずはモデルをスケッチして構想を練る。次につくりたい形に合わせて木や針金で心棒をつくり、(①)や麻ひもを巻きつける。形ができたら粘土を(②)する。次に心棒にからませるようにしっかり粘土をつける。そして、へらや身近にあるものを使って細部をつくる。最後に全体のバランスを整えて完成させる。

ジョージ・シーガルはモデルを(③)で(④)し、信号機など街にある様々な物体と組み合わせて作品化している。それまでは彫刻として理解されなかった技法を使い、日常生活の一瞬を切り取り、現代社会そのものを表現することに挑戦した。

(①)

- a 両面テープ b 綿 c ビニルテープ d しゅろ縄

(②)

- a あらづけ b どべづけ c ひもづくり d 水引

(③)

- a 樹脂 b 粘土 c 石膏 d 乾漆

(④)

- a 型どり b 流し込み c 肉付け d モデリング

2 次の文は、木彫の制作過程について述べたものである。(①)・(②)に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。

- (1) 木材をブロック状に切り揃え、(①)を各面に描く。
- (2) のこぎりで大まかに形を切り出す。
- (3) (②)で粗彫りする。
- (4) 角度を変えながら、全体を見て彫り進める。
- (5) 小刀等を使って細部を彫り進める。

(①)

- a 設計図 b 空想画 c 細密画 d デッサン

(②)

- a ニードル b のみ c 彫刻刀 d かんな

3 次の文は、工芸の装飾技法について述べたものである。(①) ~ (④) に該当する語句を、それぞれ下の a ~ d から一つずつ選びなさい。

(①) とは、夜光貝やアワビなどの貝殻を薄く加工し、木地や (②) の面に埋め込んだり、貼り付けたりして装飾したものである。(①) に使う貝は厚さによって薄貝と厚貝に分けられ、煮て薄く剥がしたり、砥石で平らにしたりして使う。

(③) は、地の素材を彫って、その部分に他の材料をはめ込んで模様を表す技法である。主に (④) で用いるが、木・陶磁・蒔絵などでも用いる。

(①)

- a 螺鈿 b 象嵌 c 彫文 d 泥彩

(②)

- a 土肌 b 石 c 金属 d 漆地

(③)

- a 螺鈿 b 象嵌 c 彫文 d 泥彩

(④)

- a 鍛金 b 鋳金 c 彫金 d 切金

第3問 次の1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 色立体について述べたものとして誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 色相環は、色相どうしの関係を考える時に役立つ、色立体は、色相ごとの明度や彩度を考える時に役立つ。
- b 色相、明度、彩度という色の三要素（三属性）を、三次元の空間に立体化したものを色立体という。
- c マンセル表色系の色立体では、本来はすべての色がつながった立体になるはずのものであるが、パネルで色相の断面として示している。
- d 色立体は、色相を輪、彩度を縦軸、明度を中心からの段階とした立体図である。あらゆる色は、この立体の空間の中に位置づけられる。

(2) 色の三要素（三属性）について述べたものとして誤っているものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a すべての色は、赤や黄、緑のような色み、明るさ、鮮やかさの三つの性質によってとらえることができる。
- b 白から灰色、黒にいたるグレースケールは明度のみで表示され、色相を含まない彩度ゼロの色であり、これを無彩色という。
- c 同じ色相の中でも最も彩度の高い色を有彩色と言う。有彩色に白や黒を混ぜると、同一色相でもさまざまな色を作ることができる。
- d 色の体系は色相、明度、彩度という三つの要素によって分類、組み立てられている。

(3) 配色の特徴について、説明が正しいものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 同一色相による配色 - 融合的でまとまりやすいが、単調になりやすいので、明度、彩度の変化を考える。
- b 類似色相による配色 - 色相環の上で、間隔（色相差）が大きい色どうしの配色。相互に引き立てて強く刺激的な感じになる。
- c 補色色相による配色 - 色相環の上で、近い位置関係にある色の配色。似ている色による組み合わせ。一般に、穏やかで落ち着いた感じになる。
- d 対照色相による配色 - 色相環の上で真向かいに位置する、最も対照的な色どうしの組み合わせ。互いの色を引き立たせまとまりのある感じになる。

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、透視図法について述べたものである。(①)・(②)に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

工

線遠近法による透視図法とは、(①)線と(②)点を決めて描くことで遠近感を表す方法である。

- a ① 平行 ② 中心
- b ① 平行 ② 消失
- c ① 水平 ② 中心
- d ① 水平 ② 消失

(2) 次の文は、遠近法について述べたものである。(①)・(②)に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。 才

絵画において奥行きや遠近感をどのように表すかは、昔から大きな課題であった。画家たちは、奥行きの表現をするために構図や(①)の効果などを生かして独自の工夫をした。

遠近法を用いると、(②)や近くのものや遠くのものとの間にある空間を表すことができる。

- a ① 素材 ② 距離感
- b ① 配色 ② 質感
- c ① 配色 ② 距離感
- d ① 素材 ② 質感

(3) 次の作品①～④と用いている図法の組み合わせとして最も適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

カ

①

②

③

④

- | | | | |
|---|----------------------|----------|----------|
| a | ① 三点透視図法
④ 二点透視図法 | ② 一点透視図法 | ③ 空気遠近法 |
| b | ① 二点透視図法
④ 三点透視図法 | ② 一点透視図法 | ③ 空気遠近法 |
| c | ① 三点透視図法
④ 二点透視図法 | ② 空気遠近法 | ③ 一点透視図法 |
| d | ① 二点透視図法
④ 一点透視図法 | ② 三点透視図法 | ③ 空気遠近法 |

3 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、水彩絵の具についての説明である。(①)・(②)に入る語句の組み合わせとして、最も適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。

キ

水彩絵の具は顔料をアラビアゴムで練り、筆運びを滑らかにするためにグリセリン(湿油剤)を加えて作る。アラビアゴムはアカシア科のアラビアゴムの木から採取した樹脂で、接着剤として優れた性質を持っている。

水彩絵の具には(①)と(②)とがある。(①)はアラビアゴムを多めに加え、薄めてもよく延び、紙の白さや下地の色を生かせるように調合してある。(②)はアラビアゴムの量を少なくして顔料密度を高め、隠蔽力(下地の色を隠す力)を高めた絵の具である。

- | | | |
|---|------------|------------|
| a | ① 透明水彩 | ② アクリルガッシュ |
| b | ① 透明水彩 | ② 不透明水彩 |
| c | ① アクリルガッシュ | ② 不透明水彩 |
| d | ① 不透明水彩 | ② 透明水彩 |

(2) モダンテクニックの技法名と表現との組み合わせとして誤っているものを、次の
a～dから一つ選びなさい。

a ストリング

b コラージュ

c スパッタリング

d デカルコマニー

第4問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の作品(1)～(4)の作者名と制作年代の古いものから順に正しく並んでいるものを、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

作者名

(1)

- | | |
|------------------|---------------|
| a ピーテル・パウル・ルーベンス | b エル・グレコ |
| c ジャック＝ルイ・ダヴィッド | d ウジェーヌ・ドラクロワ |

(2)

- | | |
|------------------|-----------|
| a ヴァシリイ・カンディンスキー | b パウル・クレー |
| c アンリ・マティス | d ジョアン・ミロ |

(3)

- | | |
|------------------|---------------|
| a ラファエロ・サンティ | b ヨハネス・フェルメール |
| c ジャン＝シメオン・シャルダン | d ベルト・モリゾ |

(4)

- a サンドロ・ボッティチェリ
- c アントワーヌ・ヴァトー

- b テイツィアーノ・ヴェチェルリオ
- d オーギュスト・ルノワール

制作年代順

- a (1) - (4) - (2) - (3)
- b (3) - (4) - (2) - (1)
- c (4) - (1) - (3) - (2)
- d (4) - (3) - (1) - (2)

2 次の作品について (1) ~ (3) の問いに答えなさい。

(1) 作者名を下の a ~ d から一つ選びなさい。

- a ポール・シニャック b クロード・モネ
c ジョルジュ・スーラ d アンリ・ルソー

(2) 作者の出身国, 作品の題名の正しい組み合わせを, 次の a ~ d から一つ選びなさい。

- | [出身国] | [作品の題名] |
|-----------|-------------------|
| a イタリア | 草上の昼食 |
| b フランス | グランド・ジャット島の日曜日の午後 |
| c イギリス | 草上の昼食 |
| d アメリカ合衆国 | グランド・ジャット島の日曜日の午後 |

(3) 作者が行っていた, 次に示す芸術運動の名称を, 下の a ~ d から一つ選びなさい。

色彩理論を科学的, 理論的に追究し, 点描法による色彩効果を用いて画面に光輝を与えようとする運動

- a 印象主義 b 新印象主義 c キュビズム d 表現主義

3 次の作品 (1) ~ (6) の作者名を, それぞれ下の a ~ d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

- (1)
- a ミケランジェロ・ブオナローティ b ジャン・ロレンツォ・ベルニーニ
c オーギュスト・ロダン d マリノ・マリーニ
- (2)
- a フェルナンド・ボテロ b ヘンリー・ムーア
c 安田侃 d ジャン・アルプ
- (3)
- a 朝倉文夫 b 佐藤忠良
c 萩原守衛 d 高村光太郎
- (4)
- a イサム・ノグチ b クレス・オルデンバーグ
c ヴイト・アコンチ d ドナルド・ジャッド
- (5)
- a 新宮晋 b バーバラ・ヘップワース
c ルイーズ・ブルジョワ d アニッシュ・カプーア
- (6)
- a 淀川テクニック b リチャード・ロング
c アンディ・ゴールズワージー d ヘザー・ヤンシュ

4 次の作品 (1) ~ (4) の作者名を, それぞれ下の a ~ d から一つずつ選びなさい。

(1)

(2)

(3)

(4)

(1)

- a 川瀬巴水 b 浜口陽三 c 池田満寿夫 d 原健

(2)

- a 棟方志功 b 斎藤清 c 藤森静雄 d 名嘉睦稔

(3)

- a 三木淳史 b 山本容子 c 奈良美智 d ひびのこづえ

(4)

- a ケーテ・コルヴィッツ b ベン・シャーン c 日和崎尊夫
d 清宮質文

(選択問題 中学校)

第5問 次の1～3の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年3月）第2章 各教科 第6節 美術 第1 目標」である。(①)・(②)に該当する語句を、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、(①) 創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、(②) たりすることができるようにする。
- (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

(①)

- a 表現方法を創意工夫し、
b 表現方法を工夫し、個性を生かして
c 表し方などを工夫して、
d 材料や用具を使い、

(②)

- a 美術の基礎的な能力を伸ばし
b 作品などに対する自分の見方や感じ方を深め
c 美術文化についての理解を深め
d 美術や美術文化に対する見方や感じ方を深め

- 2 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年3月）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕1 目標」の一部である。（ ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに，意図に応じて（ ）表すことができるようにする。

- a 創造的に
- b 表現方法を工夫して
- c 自分の表現方法を追求し，創造的に
- d 表現方法を追求して

- 3 次の文は、「中学校学習指導要領（平成29年3月）第2章 各教科 第6節 美術 第2 各学年の目標及び内容〔第2学年及び第3学年〕1 目標」の一部である。（ ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。

(3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい，美術を愛好する心情を（ ），心豊かな生活を創造していく態度を養う。

- a 育て
- b 培い
- c 養い
- d 深め

(選択問題 高等学校)

第5問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成21年3月）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第4 美術 I 1 目標」の内容である。() に該当する語句を、下の a～d から一つ選びなさい。

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、() 能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

- a 美術の基礎的な
- b 個性豊かな美術の
- c 創造的な表現と鑑賞の
- d 個性豊かな表現と鑑賞の

- 2 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成21年3月）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第4 美術 I 2 内容 A 表現 (2) デザイン」の内容である。() に該当する語句を、下の a～d から一つ選びなさい。

ア () 主題を生成すること。
 イ 表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練ること。
 ウ 意図に応じて材料や用具の特性を生かすこと。
 エ 表現方法を工夫し、目的や計画を基に表現すること。

- a 目的、機能、美しさなどを考えて
- b 伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから
- c デザインの効果を考えて独創的な
- d 生活を美しく豊かにするデザインの働きを考えて

- 3 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成21年3月）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第5 美術Ⅱ 2 内容 A 表現（1）絵画・彫刻」の内容である。（ ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。

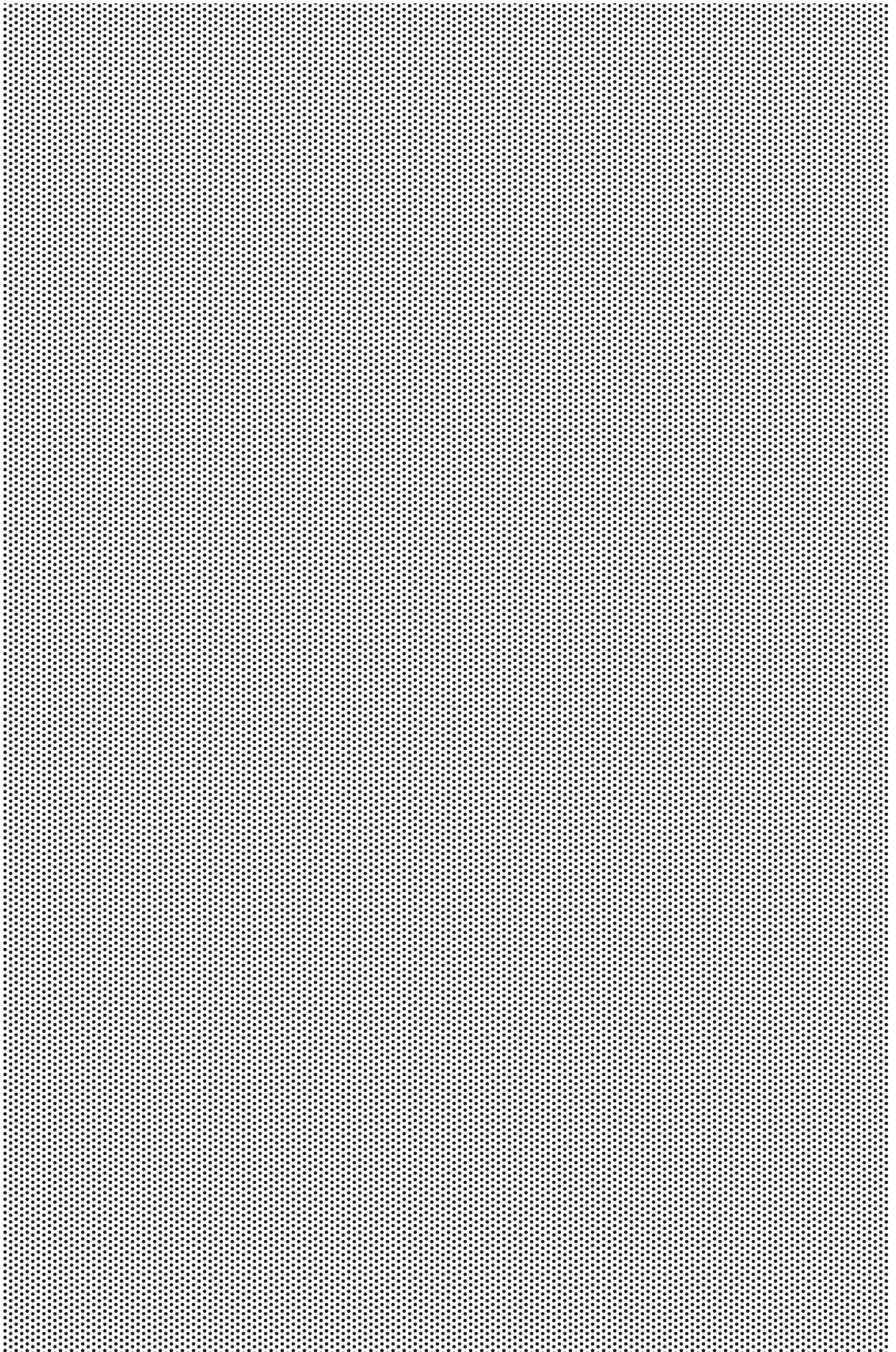
ア 自然，自己，社会などを深く見つめて主題を生成すること。
イ 表現形式を選択し，（ ）構想を練ること。
ウ 主題に合った表現方法を工夫し，創造的に表現すること。

- a 表現の
b 心豊かに表現する
c 創造的な表現の
d 創造的で心豊かな表現の

- 4 次の文は、「高等学校学習指導要領（平成21年3月）第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第5 美術Ⅱ 2 内容 A 表現（3）映像メディア表現」の内容である。（ ）に該当する語句を，下のa～dから一つ選びなさい。

ア 自然，自己，社会などを深く見つめ，（ ）主題を生成すること。
イ 映像表現の視覚的要素などの効果を生かして創造的で心豊かな表現の構想を練ること。
ウ 主題に合った表現方法を工夫し，創造的に表現すること。

- a 映像メディアの特性を生かして
b 感じ取ったことや考えたこと，目的や機能などを基に，
c 映像メディアの特性を生かして独創的な
d 映像メディアの積極的な活用を図り，



- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 と表示のある問いに対して b と解答する場合は、下の（例）のようにアの解答欄の b をマークしてください。

（例）

ア	<input type="radio"/> a	<input checked="" type="radio"/> b	<input type="radio"/> c	<input type="radio"/> d	<input type="radio"/> e	<input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	<input type="radio"/> 6	<input type="radio"/> 7	<input type="radio"/> 8	<input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> .	<input type="radio"/> -	<input type="radio"/> ±
---	-------------------------	------------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 第5問は選択問題です。受審する校種の問題についてマークしてください。
- 6 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。

